鳥羽商船高等専門学校	商船学科	開調	講年度	平成20年度(2008年度)	
学科到達目標	·	·				
1 人則州典かか教業 レかスマレ						

- 1. 人間性豊かな教養人となること
- (A1) 豊かな教養
- (A2) 健全で頑強な心身
- 2. 創造性豊かな技術者となること
- (B1) 技術者としての倫理観
- (B2) 海事技術者として必要な基礎知識
- (B3) 海事技術者としての専門知識
- ○航海システム技術者モデル
- ○機関システム技術者モデル
- (B4) 技術者としての創造力
- (B5) 社会に貢献できるデザインカ
- 3. 国際性豊かな社会人となること
- (C1) 記述力とプレゼンテーション及びディベート能力
- (C2) チームワークカ
- (C3) 国際コミュニケーション能力
- (C4) 異文化理解

						I	別週当			ţ	1	24			146				- /-				
科目分	区	 授業科目	科目番号	単位種 別	単位数	1年 前	後	_	2年 前	後	$\overline{}$	3年 前	1	发	4 ^左 前	F	後	_	<u>5年</u> 前	後		担当教	履修上
分		IXXIII	号	別	+124	1				3			2 3	女 3 4		2						員	の区分
						1 2 Q Q	3 4 Q Q	į c	l 2 Q Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 3 Q 0	3 4 Q Q	1 Q	Q	3 Q	Q	1 Q	2 3 Q Q	4 Q		
般	必修	国語(1年)	0419	履修単 位	3	3	3															豊田 尚子	
般	必修	歴史	0428	履修単 位	2	2	2															中平 希	
一般	必修	地理	0430	履修単 位	2	2	2															教務係	
一般	必修	基礎数学A	0431	履修単 位	4	4	4															教務係	
般	必修	基礎数学B	0432	履修単 位	2	2	2															教務係	
般	必修	物理	0438	履修単 位	2	2	2															冨澤 明	
一般	必修	化学	0440	履修単 位	2	2	2															澤田 圭樹	
一般	必修	保健·体育	0444	履修単 位	2	2	2															重永 貴博	
一般	選択	書道	0449	履修単 位	2	2	2															教務係	
一般	選択	美術	0450	履修単 位	2	2	2															教務係	
一般	選択	音楽	0451	履修単 位	2	2	2															教務係	
一般	必修	英語 A	0452	履修単 位	3	3	3															橋爪 仙 彦	
一般	必修	英語B	0454	履修単 位	3	3	3															教務係	
専門	必修	航海概論	0000	履修単 位	1	2																鎌田 功	
専門	必修	機関概論	0001	履修単 位	1		2															嶋岡 芳 弘	
専門	必修	海技実習	0002	履修単 位	3	3	3															小夫島,小真今,康 川,小智田輝井之 東	
専門	必修	練習船実習	0017	履修単	1	1	1															齊心 俊 憲,大 野 伸良	
専門	必修	練習船実習	0067	履修単 位	1	1	1															齊心 俊 憲,大 野 伸良	

	楚情報	0.440			TAIL O		фп. / \/ /		
科目番号		0419			科目区分	1 22//	一般/必修		
受業形態		講義	N.		単位の種別	と単位致	履修単位: 3	3	
開設学科		商船学科	꼭		対象学年		1		
開設期	6.1.1	通年			週時間数		3		
数科書/教	X1/1	#							
旦当教員		豊田尚	<u>† </u>						
到達目標									
レーブ!	<u>リック</u>							1	
			理想的な到	達レベルの目安	標準的な到	達レベルの	目安	未到達レベル	の目安
平価項目:									
平価項目2									
评価項目:									
学科の発	到達目標	項目との関	関係						
教育方法	法等								
既要									
	め方・方法								
主意点									
受業計画	画								
I>H I F		週	授業内容			调ごり	との到達目標		
		1週							
		2週							
		3週							
		4週							
	1stQ	5週							
		6週							
		7週							
		8週							
前期		9週							
		10週							
		11週							
		12週							
	2ndQ	13週							
		14週							
		15週							
		16週							
		1週							
		2週							
		3週							
		4週							
	3rdQ	5週							
		6週							
		7週							
/, HF		8週							
		9週							
		10週							
		11週							
	4	12週							
	4thQ	13週							
		14週							
		15週							
		16週							
Fデル ⁻		•		到達日標					
<u> </u>	<u> </u>	<u>ーユ ブム</u> 0 分野	学習内					쥐	達レベル 授業週
	<u></u>	/J±1	ן די אם־דן		-H-NV			11/	・・・ ソレ 口又未起
平価割合		±EΦ	2 % ±=	+□ =: /=-	台上	0	L ¬	7 A 44	⊘ ≡1
₩ Δ===/==		験	発表	相互評価	態度		トフォリオ	その他	合計
総合評価			0	0	0	0		0	0
基礎的能; 專門的能;			0	0	0	0		0	0
五 64 BY 185.	カ 0		0	0	0	0		0	0

	楚情報						T ,		
科目番号		0428			科目区分		一般 / 必修		
受業形態		講義			単位の種別	と単位数	履修単位: 2	2	
開設学科		商船学科	<u> </u>		対象学年		1		
開設期		通年			週時間数		2		
教科書/教	材								
旦当教員		中平 希							
到達目標	票								
ルーブ!	Jック								
			理想的な到	達レベルの目安	標準的な到	<u></u> 達レベルの	 月安	未到達レベル	 の目安
評価項目:	1		1 11/11/2012	~~~~~	130 1 23 00 23	<u> </u>		11423222	
平価項目2									
评価項目:									
		 項目との関	图仪					1	
		タロ この	灯 m						
<u>教育方法</u>	太寺								
既要									
	め方・方法								
主意点									
受業計画	—		_						
		週	授業内容			週ごる	との到達目標		
		1週							
		2週							
		3週							
	1stQ	4週							
	ISTQ	5週							
		6週							
		7週							
<u>-</u> ∠++⊓		8週							
前期		9週							
		10週							
		11週							
		12週							
	2ndQ	13週							
		14週							
		15週							
		16週							
		1週							
		2週							
		3週							
		4週	1						
	3rdQ	5週	+						
		6週	+						
		7週	+						
		8週	+						
		9週	+						
		10週							
		11週							
		12週							
	4thQ	13週							
		14週	+						
		15週	+						
		16週	+						
			1						
	コアカリ		D学習内容と					1	±1
<u> </u>		分野	学習内容	学習内容の到達	至日標			到〕	達レベル 授業週
平価割合			1		•			1	
	訂	験	発表	相互評価	態度	ポー	トフォリオ	その他	合計
総合評価語	割合 0		0	0	0	0		0	0
基礎的能力	カ 0		0	0	0	0		0	0
専門的能力			0	0	0	0		0	0
	的能力 0		0	0	0	0		0	0

自切	茜	(空声	 門学校		 開講年度	平成20年度	(2008年帝	\ +	受業科目 は	 也理	
		守守	一大仪		用两牛皮	十成204長	(2000年)支) 1	文 末 竹日 ¹	巴连	
科目基礎科目番号	EI月ギ収	1	0430				科目区分		一般 / 必修	:	
授業形態			J430 講義				単位の種別	ルビは米	履修単位: 2		
開設学科			西我 商船学科				対象学年	して半位数	1	<u> </u>	
開設期			<u> </u>				週時間数		2		
教科書/教	*		世十				阿哈田致		2		
担当教員	[2]	=	 教務係								
到達目標	<u> </u>		FX177 I/N								
ルーブリ	リツク			тш	*日か+\5小夫! <i>*</i>		+無3件が1+2万	ᆙᆂᆝᅑᆝᅥᅎ		士がい去し	
評価項目1				理	想的な到達レイ	ソルの日女	保学的な主	達レベルの)日女	木到莲レ/	ベルの目安
評価項目1				+							
<u>評価項目2</u> 評価項目3											
学科の到		= 1百口	レの問だ	⊥ ⊽:							
		示坦口	この利害	<u> </u>							
教育方法	、 寺										
概要	\	+									
授業の進め 注意点	ノク・ク										
^{注思点} 授業計画											
1文耒訂世	<u>ц</u>	週	1.	□₩-	 内容			\H →\	 との到達目標		
				又耒	7)台			週ご	この判廷日信		
		3 3 3 3									
		4 4 1									
	1stQ	5〕									
		6 6 1									
		7认									
24. #0		8边	<u></u>								
前期		9沪	<u> </u>								
		10									
		11									
	2ndQ	12									
	Znaq	13									
		14									
			週								
		16									
		1过									
		2 3 3 3									
		3½ 4〕									
	3rdQ	5 5 5									
		5½ 6〕									
		7〕									
公共P		8边									
後期		9沪									
		10									
		11									
	4thQ	12									
	"."	13									
		14									
		15									
	<u></u> 1 マナリ	16		¥ সুস	ᅟ						
	י נולית ו	ノナユ	分野	fΞ	内容と到達 _{学習内容}	.日 <i>信</i> 学習内容の到達	中煙			1	到達レベル 授業週
分類	<u> </u>		リルまず		子百门谷	ナ百円合の到達	口际				判理レバソル 投耒週
評価割合		≡ ±∉수		5 ~	<u> </u>	担方司庫	台中	<u></u>	k ¬→!!→	Z () #	∆≣⊥
公△≕/≖ ≠		試験			表	相互評価	態度	<u>ホ</u> - 0	-トフォリオ	その他	合計
総合評価害 基礎的能力		0		0		0	0	0		0	0
専門的能力		0		0		0	0	0		0	0
分野横断的		0		0		0	0	0		0	0
/フェコ 児に口口	רלטנוי			10		10				1-	12

科目基础	此旧牧	0424			科目区分				
科目番号 授業形態		0431				1. H4 / #h	一般/必修		
		講義	N		単位の種別で	二年122数	履修単位: 4	+	
開設学科 開設期		商船学科	1		対象学年		4		
	h++	通年			週時間数		4		
教科書/教 担当教員	K1/1	*h Z\(\sigma\)							
		教務係							
到達目標									
<u>ルーブ!</u>	<u> </u>		į					1	
			理想的な到達	レベルの目安	標準的な到過	達レベルの	目安	未到達レベル	の目安
平価項目:									
平価項目2									
平価項目:									
学科の到	到達目標	項目との関							
教育方 法	去等								
既要									
	 め方・方法								
(京:) 									
受業計画	 面								
~ <u>~~</u> 11 L	1	週	授業内容			调プリ	 との到達目標		
	1	1週	3人木广3口			التار (- シエルエロ1休		
		2週							
		3週							
		4週							
	1stQ	5週							
		6週							
		7週							
		8週							
前期		9週							
		10週							
		11週							
		12週							
	2ndQ	13週							
		14週							
		15週							
		16週							
		1週							
		2週							
		3週							
		4週							
	3rdQ	5週							
		6週							
		7週							
		8週							
		9週							
		10週							
		11週							
		12週							
	4thQ	13週							
		14週							
		15週							
		16週							
	_ ファ ナ リ・	•	1 一番 日本 アカ	李口捶					
	ユゲハリ		D学習内容と到					7:113	FI 0,,11 125.44.12
対類	^	分野	学習内容	学習内容の到達	日偿			到道	をレベル 授業週
平価割合			1	T	- I	1 :			
		験	発表	相互評価	態度		・トフォリオ	その他	合計
			0	0	0	0		0	0
総合評価語									
総合評価語 基礎的能力 専門的能力	カ 0		0	0	0	0		0	0

科目基础		0.433			INDE A		фп. / \/-	•	
科目番号		0432			科目区分	1 334 /	一般/必修		
受業形態		講義	N.		単位の種別	と単位数	履修単位:	2	
開設学科		商船学科	<u>각</u>		対象学年		1		
開設期	6.1.1	通年			週時間数		2		
数科書/教	X1/1	# <i>h マh 17</i> ;							
旦当教員		教務係							
到達目標									
<u>ルーブ!</u>	<u> </u>								
			理想的な到	達レベルの目安	標準的な到	達レベルの	目安	未到達レベル	の目安
平価項目:									
平価項目2									
评価項目:									
学科の発	到達目標.	項目との関	関係						
教育方法	去等								
既要									
	め方・方法								
主意点									
受業計画	画								
-<-N-1 F	Ī	週	授業内容			週ごり	 との到達目標		
		1週	12000111			1200			
		2週							
		3週							
		4週							
	1stQ	5週							
		6週							
		7週							
		8週							
前期		9週							
		10週							
		11週							
		12週							
	2ndQ	13週							
		14週							
		15週							
		16週							
		1週							
		2週							
		3週							
		4週							
	3rdQ	5週							
		6週							
		7週							
« + ₽₽		8週							
		9週							
		10週							
		11週							
	41.0	12週							
	4thQ	13週							
		14週							
		15週							
		16週							
Eデル	コアカリ:	•		到達目標		•			
<u> </u>	<u> </u>	分野	学習内容					到	童レベル 授業週
平価割る	 슬	/1111	11.11.11		-H M			رزيدا	ニレーマレ 1久未紀
十1川古)に		 :験	卒≢	±0 = 0 /=	能由		トフュリナ	マの畑	∆≡∔
公全部在		心	発表の	相互評価	態度		トフォリオ	その他	合計
総合評価			0	0	0	0		0	0
基礎的能; 専門的能;			0	0	0	0		0	0
キヒコロハ目だ。	カ 0		0	0	0	0		0	0

自切	商船高	(空声)			開講年度	平成20年度	(2008年度	:\	受業科目	 勿理	
		守守	一大汉		用	十成204長	(2000年辰	.) 1	文 末 代日 1	<u> </u>	
科目基礎科目番号	と日刊	10	438				科目区分		一般 / 必修		
授業形態			<u>438 </u>					 別と単位数	履修単位: 2		
開設学科			133 3船学科				対象学年	ガニ半位数	1	<u> </u>	
開設期			<u>到加于代</u> 1945年				週時間数		2		
教科書/教	*		"				四吋间数				
担当教員	(N)		富澤 明								
到達目標	<u> </u>		B/∓ P/J								
ルーブリ	リック			тш	おかわれないまし		1m3# 60 + \7	[마추니 ^^ II 4		士がい去し	
評価項目1				理	想的な到達レ	ヘルの日女	- 保学的な3	到達レベルの	川女	木到莲レ/	ベルの目安
<u>評価項目1</u> 評価項目2											
<u> </u>											
学科の到		五百日	レの問だ	 ₹.			l				
		示识口		<u> </u>							
教育方法	寺										
概要	<u> </u>	<u>+</u>									
授業の進め	ソカ・万	法									
注意点	.										
授業計画	1	\range	1	7114 ZZZ				\m_\	レクかりキロギ		
		週		受業区	小谷			過ご	との到達目標		
		1週 2週									
		3週									
		4週									
	1stQ	5追									
		6週									
		7週									
		8週									
前期		9週									
		10									
		11	週								
	2ndQ	12	週								
	ZHUQ	13	週								
		14									
		15									
		16									
		1週									
		2週									
		3週									
	3rdQ	4週 5週									
		5년 6년									
		7週									
		8週									
後期		9週									
		10									
		11									
	4+1- 0	12									
	4thQ	13					<u> </u>		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
		14									
		15									
		16									
]アカ!	ノキュ		学習	内容と到達						1
分類			分野		学習内容	学習内容の到達	目標				到達レベル 授業週
評価割合											
		試験		発	表	相互評価	態度	ポ-	-トフォリオ	その他	合計
総合評価害		0		0		0	0	0		0	0
基礎的能力		0		0		0	0	0		0	0
専門的能力		0		0		0	0	0		0	0
分野横断的	1能力	0		0		0	0	0		0	0

科目基礎	10川口	等専門学校		* 1 <u>11/</u> 55 1114-1 11	(2000年 年)	+Σ	335 *() II I	レ学	
<u>件</u> 日基坝	朴主共口	<u> </u>	開講年度	支 干成20平层	(2008年度)	13	受業科目 1	比学	
	E I F Y D	0440			シロロハ				
科目番号		0440			科目区分	-)}{ /	一般 / 必修		
授業形態		講義			単位の種別と	二単似数	履修単位: 2	<u>′</u>	
開設学科 開設期		商船学科 通年			対象学年 週時間数		2		
」 一類 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	1 /	<u></u>			週时间数				
教科書/教/ 担当教員	7/3	澤田 圭樹							
型	Б	一 /学山 土位	J						
ルーブリ	リツク		TITHE 45 + \ 71\ +	600	1#1/# 45 ± 1 701 13	±1 .%.1 6		+ 701+1	» o.D.c.
			理想的な到達	レベルの目安	標準的な到達	置レベルの	日安	未到達レヘ	いい日安
評価項目1 評価項目2									
<u>評価項目2</u> 評価項目3									
		1百口 レの問							
		項目との関	1糸						
教育方法	美								
概要		_							
授業の進め	ンカ・万法	<u>z</u>							
注意点									
授業計画	<u> </u>	\m	100 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110			\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	. 6501+05		
			授業内容			週こと	この到達目標		
		1週 2週							
		2週							
		3週 4週							
	1stQ	5週							
		6週							
		7週							
		8週							
前期		9週							
		10週							
		11週							
	2 10	12週							
	2ndQ	13週							
		14週							
		15週							
		16週							
		1週							
		2週							
		3週							
	3rdQ	4週							
		5週							
		6週 7週				_			
		8週				_			
後期		9週				+			
		10週							
		11週							
	411.6	12週							
	4thQ	13週							
		14週							
		15週							
		16週							
モデルニ]アカリ		学習内容と到	達目標					
分類		分野	学習内容	学習内容の到達	目標				到達レベル 授業週
評価割合	1								
		式験	発表	相互評価	態度	ポー	トフォリオ	その他	合計
総合評価割	il合 C		0	0	0	0		0	0
) (0	0	0	0		0	0
基礎的能力) [
基礎的能力 専門的能力			0	0	0	0		0	0

科目番号		0444			科目区分		一般 / 必修	<u> </u>	
2000年 1000年		講義			単位の種別	ト出合物	履修単位:		
開設学科		商船学科	શ		対象学年	<u>C</u> 半 世		<u> </u>	
明政 <u>子科</u> 開設期		通年	1		週時間数		2		
_{用取期} 教科書/教	h++	週年			週时间数				
8/4音/多 旦当教員	X1/J	重永貴							
	Late	里水 貝	守						
到達目4									
レーブ!	リック							1	
			理想的な到	達レベルの目安	標準的な到	達レベルの	目安	未到達レベル	レの目安
平価項目:									
评価項目2									
评価項目:									
学科の発	到達目標	項目との関	∮係						
教育方法	法等								
既要									
	め方・方法								
主意点									
受業計画	画								
-<-N-1 F	1	週	授業内容			调ごん	 との到達目標		
		1週	1000111			1200	XIX-H-IVK		
		2週	1						
		3週	1						
		4週							
	1stQ	5週							
		6週							
		7週							
		8週							
前期		9週							
		10週							
		11週							
		12週							
	2ndQ	13週							
		14週							
		15週							
		16週							
		1週							
		2週							
		3週							
		4週	1						
	3rdQ	5週	1						
		6週	1						
		7週							
/, HF		8週							
		9週							
		10週							
		11週							
		12週							
	4thQ	13週	1						
		14週	1						
		15週	1						
		16週	1						
 Fデル <i>-</i>	 フアカロ・	•	 D学習内容と						
<u>こノ /レ_</u> }類	<u> </u>	<u>イユ ブム</u> 0 分野	グチョウ合 <u>と</u> 学習内名					피	達レベル 授業週
		<i>J</i> JEJ	子百內名	ゴー ナ白い谷の判理	二二分			到	圧レ′ ソレ 1又未则
評価割る		2 FA	∞ ±	107-27-77	台口中	_10	1	7014	△= 1
₩ Δ===/==		験	発表	相互評価	態度		トフォリオ	その他	合計
総合評価			0	0	0	0		0	0
基礎的能; 專門的能;			0	0	0	0		0	0
9 64 BY 185.	カ 0		0	0	0	0		0	0

科目基礎科目番号	此旧牧	0449			科目区分				
						1. H4 / #h	一般/選択		
受業形態		講義	N		単位の種別の	C 早 位 致	履修単位: 2	<u> </u>	
開設学科 開設期		商船学科	1		対象学年		2		
	h++	通年			週時間数		2		
教科書/教 担当教員	X1/3	≯ h ₹ ⁄7 / <i>T</i>							
		教務係							
到達目標									
<u>ルーブ!</u>	<u> </u>		i						
			理想的な到達	レベルの目安	標準的な到	達レベルの	目安	未到達レベルの	目安
平価項目:									
平価項目2									
平価項目:									
学科の至	到達目標	項目との関	月 係						
教育方 法	去等								
既要									
	 め方・方法								
主意点									
	 面								
~~:11	Ī	週	授業内容			调プリ	 との到達目標		
	1	1週	1X-X1 1D			التار (- ジェルエロ1示		
		2週	1						
		3週	†						
		4週							
	1stQ	5週							
		6週							
		7週							
		8週							
前期		9週							
		10週							
		11週							
		12週							
	2ndQ	13週							
		14週							
		15週							
		16週							
		1週							
		2週							
		3週							
		4週							
	3rdQ	5週							
		6週							
		7週							
		8週							
		9週							
		10週							
		11週	1						
		12週	+						
	4thQ	13週	+						
		14週	+						
		15週	+						
		16週							
	_ ファ ナ リ・		1 一番 選手分 てき						
	ユゲハリ		D学習内容と到					和比土	V,, II
対類	^	分野	学習内容	学習内容の到達	<u>自保</u>				ノベル 授業週
平価割合			I	1	I	<u> </u>		T	
		験	発表	相互評価	態度		・トフォリオ	その他	合計
	割合 0		0	0	0	0		0	0
総合評価語									
総合評価語 基礎的能 専門的能	カ 0		0	0	0	0		0	0

自177	克 砂宁	 等専門学		開講年度	F 亚成20年度	(2008年度)	+22	受業科目 🦸	 美術	
		守守门子	-化义		2 干成20牛皮	(2000年度)	13	(未付日 j	天1川	
科目基礎科目番号	:I月羊仅	0450	<u> </u>			科目区分		一般 / 選択	<u> </u>	
授業形態		講義				単位の種別	 レ畄ದ粉	履修単位: 2		
開設学科		商船				対象学年	C 丰 世 妖	1		
開設期		通年				週時間数		2		
教科書/教材	bt	AE 1				ZEFTIESZA		-		
担当教員		教務								
到達目標	5	1300	1715							
ルーブリ										
<u>ルーフ・フ</u>	ラン			理想的な到達		標準的な到過	達しべ ルの	 日安	丰到诗1./	 ベルの目安
評価項目1				生心的な到底	D, AMODER	(赤谷りの主)	達レ・リルツ		不到達レ	VVV) E Q
評価項目2										
評価項目3										
学科の到		頭日との	か関係	ζ					!	
教育方法		7 9, П С ч		`						
<u> </u>	\ \									
<u>概要</u> 授業の進め	方・方	_ 								
注意点	//J * /J /	4								
^{注思思} 授業計画										
1又未引世	1	週	+122	 業内容			海 ブローブ に	 との到達目標		
		1週	12	<u>未い口</u>			- 旭して	_ツ判廷日伝		
		2週								
		3週								
		4週								
	1stQ	5週								
		6週								
		7週								
		8週								
前期		9週								
		10週								
		11週								
	2ndQ	12週								
	ZnaQ	13週								
		14週								
		15週								
		16週								
		1週								
		2週								
		3週								
	3rdQ	4週 5週								
		6週								
		7週								
W. HE		8週								
後期		9週								
		10週								
		11週								
	4+b0	12週								
	4thQ	13週								
		14週								
		15週								
	<u> </u>	16週								
	アカリ			習内容と到					г	
分類		分	野	学習内容	学習内容の到達	目標				到達レベル 授業週
評価割合									1	
		試験		発表	相互評価	態度		トフォリオ	その他	合計
総合評価割)		0	0	0	0		0	0
基礎的能力)		0	0	0	0		0	0
市明かがエ	ı ()		0	0	0	0		0	0
専門的能力 分野横断的)		0	0	0	0			

	礎情報									
科目番号		0451				科目区分		一般/選択		
授業形態		講義				単位の種別	単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		商船学	科			対象学年		1		
開設期		通年				週時間数		2		
教科書/教	树									
担当教員		教務係								
到達目	標									
ルーブ										
, v			理想的	内な到達し		標準的な至	 達レベルの)日安	未到達レベ	 ルの目安
評価項目	1		>±/6/i	17.011XED	<u> </u>	W+17.61	1)ED - 000	<u>'ЦХ</u>	水工ルモレー、	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
評価項目										
評価項目										
		項目との				ļ				
		リロこの	利尔							
<u>教育方</u>	法寺									
概要										
	め方・方法	<u> </u>								
注意点										
授業計	쁴	1								
		週	授業内容	\$			週ご	との到達目標		
		1週								
		2週								
		3週								
	1stQ	4週								
	1300	5週								
		6週								
		7週								
前期		8週								
נאלניב		9週								
		10週								
		11週								
	2ndQ	12週								
	ZnaQ	13週								
		14週								
		15週								
		16週								
		1週								
		2週								
		3週								
	3rdQ	4週								
	Jord	5週								
		6週								
		7週								
後期		8週								
×#]		9週								
		10週								
		11週								
	4thQ	12週								
	7411Q	13週								
		14週								
		15週								
		16週								
モデル	<u>コア</u> カリ	キュラムの	の学習内	容と到達	達目標					
分類		分野		習内容	学習内容の到達	目標			至	別達レベル 授業週
評価割る	 合			-					,-	
		 式験	発表		相互評価	態度	ポー	-トフォリオ	その他	合計
総合評価			0		0	0	0	1 2 /1 2 /1	0	0
基礎的能			0		0	0	0		0	0
専門的能			0		0	0	0		0	0
	٠ , ا)	0			0			0	0

	楚情報	0.450			INC.		фп. / X/4		
科目番号		0452			科目区分	1 334 /	一般/必修		
受業形態		講義	N		単位の種別	と単位数	履修単位: 3	3	
開設学科		商船学科	<u> </u>		対象学年		1		
開設期	6.1.1	通年			週時間数		3		
数科書/教	X1/1	45円 41:	**						
旦当教員		橋爪 仙							
到達目標									
レーブ!	<u> </u>							1	
			理想的な到	達レベルの目安	標準的な到	達レベルの	目安	未到達レベノ	レの目安
平価項目:									
平価項目2									
评価項目:									
学科の発	到達目標.	項目との関	月係						
教育方法	去等								
既要									
	め方・方法								
主意点									
受業計画	画	•							
I>H I F	1	週	授業内容			调ごん	との到達目標		
		1週							
		2週							
		3週							
		4週							
	1stQ	5週							
		6週							
		7週							
		8週							
前期		9週							
		10週							
		11週							
		12週							
	2ndQ	13週							
		14週							
		15週							
		16週							
		1週							
		2週							
		3週							
		4週							
	3rdQ	5週							
		6週							
		7週							
/, HF		8週	1						
		9週	1						
		10週	1						
		11週	1						
		12週	1						
	4thQ	13週							
		14週							
		15週							
		16週							
Fデル ⁻			 D学習内容と	到達日標					
<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	学習内					취	達レベル 授業週
		/J±j	TEY11	u Ternatujije	- 山 ' 水			土1	たい・VV 以未旭
平価割さ		₽	z v≠	+□ === /==	台户	e	▶ ¬→□→	Z 10 44	∆≣⊥
₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩		験	発表	相互評価	態度		・トフォリオ	その他	合計
総合評価			0	0	0	0		0	0
基礎的能; 専門的能;			0	0	0	0		0	0
キヒコロハ目だ。	カ 0		0	0	0	0		0	0

開設期 選別								
開設	**			科目区分	1.) 14. 14. 27.	一般 / 必修		
開設期 通過				単位の種別と単位数		履修単位: 3		
数科書/教材 担当教員 教 到達目標 ルーブリック 評価項目3 学教育方法 日 登意業計画 週週 3週週 3週週 3週週 1stQ 13週 10週 10週 11週週 11週週 11月週 11月週 11月週 11月週	船学科			対象学年		1		
型当教員 教報 教報 を	年			週時間数		3		
理事	75 IT							
Part	務係							
評価項目1 評価項目2 評価項目3 学科の到達目標項目と 教育方法 主意業計画								
評価項目2								
平価項目2 平価項目3 学科の到達目標項目と 教育方法 受業の進め方・方法 直接		理想的な到達	レベルの目安	標準的な到過	達レベルの	目安	未到達レベルの	D目安
学科の到達目標項目と 教育方法等 既要								
学科の到達目標項目と 教育方法等 概要 の進め方・方法 12 注意								
教育方法等 照要								
教育方法等 照要	の関係	-						
照要								-
受験の進め方・方法 日本								
主意点 週 1週 2週 3週 4週 10週 10]								
受業計画 週 個 個 週 週 3週 3週 3週 4週 3週 6週 7週 8週 10週 30 11週 30 113週 143週 15週 6週 70 30 113週 143週 144 15週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16								
### Parameter								
### Parameter 1週 2週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 10週 11週 15週 16週 16週 7週 30週 10週 10〗	4577	·····································			\E →"	 との到達目標		
### Parameters 1stQ 2週 3週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 15週 16週 16〗 10〗 1	授	業内容			週ごく	_の到達日標		
### Parameters 1stQ 1stQ	+							
### 1stQ 1st								
1stQ 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 7週 8週 9週 10週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11								
新期								
新期								
新期								
世界の対象 2ndQ 2ndQ 2ndQ 10週 11週 12週 13週 14週 15週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 10週 113週 14週 15週 16週 15別 16週 16週 15別 16週								
AthQ 10週 10週 13週 14週 15週 16週 3週 3週 3md 4週 5週 6週 7週 8週 10週 11週 12週 3週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 15월 16』 15월								
2ndQ 11週 12週 13週 16週 16週 2週 3週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 15週 15週 16週 15週 15週 15週 15週 15週 15週 15週 15週 15週 15								
2ndQ 12週 13週 14週 15週 16週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 7週 8週 10週 11週 12週 13週 11週 14週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 15週 16週 15週 15週 15週 15週 15週 15週 15週 15週 15週 15								
2ndQ 13週 14週 15週 16週 16週 2週 3週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 7週 8週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 15別 1月別 1月別 1月別 1月別 1月別 1月別 1月別 1月別 1月別 1月								
14週 15週 16週 1週 2週 3週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 15週 16週 16〗 10〗								
15週 16週 16週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 8週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 15週 16週 16〗 10〗								
16週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 15圆 16週 16週 16필								
世界の対象 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)								
を期 3rdQ 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 7週 8週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16週 16	<u> </u>							
3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 15週 でデルコアカリキュラ 分類 タ								
を期 3rdQ 4週 5週 6週 7週 8週 7週 8週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 15週 16週 15週 16週 16週 15週 16週 16週 15週 16週 16週 15頭								
まります また								
き週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 モデルコアカリキュラ 分類 タータ								
後期 7週 8週 9週 10週 11週 13週 14週 15週 16週 モデルコアカリキュラ 分類 タ								
後期 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 アカリキュラ 分類 タ 対								
受期 9週 10週 11週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 16週 下デルコアカリキュラ フカ タ 15頭								
9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 モデルコアカリキュラ 分類 タ 評価割合								
4thQ 11週 12週 13週 14週 15週 16週 モデルコアカリキュラ 分類 タ								
4thQ 12週 13週 14週 15週 16週 モデルコアカリキュラ 分類 タ 評価割合								
4thQ 13週 14週 15週 16週 モデルコアカリキュラ 分類 タ 評価割合								
13週 14週 15週 16週 16週 16週 下価割合 試験								
15週 16週 モデルコアカリキュラ 分類 タ 評価割合 試験								
16週 モデルコアカリキュラ 分類 タ 評価割合 試験								
Eデルコアカリキュラ ³ 類 タ 平価割合 試験								
分類 夕 評価割合 試験	-	, nn 1 	\+ !					
平価割合 試験							1	1
試験	分野	学習内容	学習内容の到達	目標			到達	レベル 授業週
試験								
		発表	相互評価	態度	ポー	トフォリオ	その他	合計
総合評価割合 0		0	0	0	0		0	0
基礎的能力 0		0	0	0	0		0	0
事門的能力 0		0	0	0	0		0	0

 企 第	商船高	 等専門学校	開講年月	度 平成20年度(2	2008年度)	授業権	科目	 航海概論	
科目基礎		<u> </u>	1/2	× 13×120 15× (2	2000 (1/2)			מוועטקען ביי זט זכ	
科目番号	AL IDTK	0000			科目区分	車		Z.	
授業形態		講義			単位の種別と単位		<u>」,必じ</u> 修単位:		
開設学科		商船学科	刃 		対象学年	1	у ∓ш.		
開設期		前期			週時間数	2			
<u>//i.b///i</u> 教科書/教	林才		既論/小型船舶操統				ケプリン	K	
<u>30118/32</u> 担当教員	(1/3	鎌田功		WCT 3 119X-4-1 117 3	上がはからいたエンペック	(3X-1-7 III)	12 22		
<u></u> 到達目標	=	2/1/1/ /3							
1. Seama 2. 船舶運 3. 船長・ 4. 海技士	anshipの 航に必要 航海士の の試験制度	哉務を理解し	を理解し、説明で 、航海・運用・法	きる。 規に関する事項につい への意欲を持つ機会を	\て学び、その概要 と作る。	を説明でき	 ₹る。		
ルーブリ	ノツク		T田+日かたいないま		##が# 45 ± \ 70 ** ** ** ** ** ** **	» u		十四十 201	
				レベルの目安	標準的な到達レク			未到達レベル	
評価項目1	1		し説明できる		Seamanshipの根できる。			ر۱ _°	の概要を説明できな
評価項目2	2		船舶運航の基 解し説明でき	本的知識を十分に理 る。	船舶運航の基本的 明できる。	,,,,,,,, <u></u>		船舶運航の基 ない。	本的知識を説明でき
評価項目3	3		海・運用・法	の職務を理解し、航 規に関する事項の概 分に説明できる。	船長・航海士の暗海・運用・法規で要について説明で	こ関する事	し、航 項の概	船長・航海士 海・運用・法 要について説	の職務を理解し、航 規に関する事項の概 明できない。
学科の発	到達目標	項目との関	月孫						
教育方法	去等								
概要		航海概: 理解し、	aは、まずSeama 関連した事項を	nshipを理解し、船舶 学ぶ。最終的には海技	の運航に必要な基礎 士の試験制度を理解	楚的知識を 解すること	身に付けて、免許	ける。そして船: 午取得への意欲	長及び航海士の職務を を持つ機会をつくる
		授業は記	講義または鳥羽丸の	の設備を利用して実習	形式で実施する。る	また必要に	応じて資	資料(自作プリ	ント等) を配付する
授業の進め	め方・方法	。 講義時(i 適官、i	は集中して聴講し、 果題レポートを課	実習時は安全に注意 すので期限に遅れず提	して説明をしっか! 出する <i>こと</i> 。ただし	り聞くこと し、内容に	よっては	は、課題レポー	トを小テストに変え
		る場合を	5ある。						
注意点		新規学習	習内容のため予習? テうこと。 頃け必ず白分で解:	复習を実施しなければ き、わからないところ	十分に理解しがたい を明確にすること	ハ。また、	既習事項	頁の練習定着を <u></u>	受講者の責任でしっ
		評価方法	という 日ガ に解る との 「その他」で	ま、出席状況や授業態	度及び積極性を評価	面する。			
授業計画	画								
		週	授業内容			週ごとの至]達目標		
		1週	ガイダンス			船乗り(船 精神を知る		海士)の話を聞	き、Seamanshipの
		2週	海・船・船員(1	.)		海・船・淮 きる。	事技術	者の関係とその	定義について説明で
		3週	海・船・船員(2	!)		船の歴史を	と説明で	きる。	
	1stQ	4週	海・船・船員(3	3)		船長や航海 。	事士に必	要な資格や職務	について説明できる
		5週	海・船・船員(4	+)		船の種類や	っそれぞね	れの用途や積荷	の種類を説明できる
		6週	船体の概要(1)			船舶の要目	1、各部の	 の名称を理解す	- る。
		7週	船体の概要(2)			船舶設備の)概要を認	 説明できる。	
前期	1	8週	前期中間試験						
		9週	航海の基礎知識	(1)		鳥羽丸の船	海計器	を言える。	
	1	10週	航海の基礎知識	(2)		コンパスで	 ご方位を	 読み、クロスベ	アリングを体験する
		1-0/-							
		11週	航海の基礎知識	(3)		測深を体験	食する。I	レーダで距離を	測り、位置を求める
	2ndQ	11週	航海の基礎知識	(4)		。 航海で使月	する書籍	籍類(水路図誌	() が説明できる。
	2ndQ	11週 12週 13週	航海の基礎知識 航海の基礎知識	(4)		。 航海で使用 船で使用す	引する書館 する長さ ^ん	籍類(水路図誌 や速さの単位を)が説明できる。 理解し計算できる。
	2ndQ	11週 12週 13週 14週	航海の基礎知識 航海の基礎知識 航海の基礎知識	(4) (5) (6)		。 航海で使用 船で使用す 潮汐表を係	月する書類 する長さ ⁴ もって潮汐	籍類(水路図誌 や速さの単位を 汐や海流を求め	。)が説明できる。 理解し計算できる。 oる事が出来る。
	2ndQ	11週 12週 13週 14週 15週	航海の基礎知識 航海の基礎知識	(4) (5) (6)		。 航海で使用 船で使用す 潮汐表を係	月する書類 する長さ ⁴ もって潮汐	籍類(水路図誌 や速さの単位を	。)が説明できる。 理解し計算できる。 oる事が出来る。
		11週 12週 13週 14週 15週 16週	航海の基礎知識 航海の基礎知識 航海の基礎知識 試験の解答解説	(4) (5) (6)		。 航海で使用 船で使用す 潮汐表を係	月する書類 する長さ ⁴ もって潮汐	籍類(水路図誌 や速さの単位を 汐や海流を求め	。)が説明できる。 理解し計算できる。 oる事が出来る。
		11週 12週 13週 14週 15週 16週 キュラムの	航海の基礎知識 航海の基礎知識 航海の基礎知識 試験の解答解説 の学習内容と至	(4) (5) (6) J達目標		。 航海で使用 船で使用す 潮汐表を係	月する書類 する長さ ⁴ もって潮汐	籍類(水路図誌 や速さの単位を 汐や海流を求め 必要性を教わる	i) が説明できる。 :理解し計算できる。 oる事が出来る。 。
		11週 12週 13週 14週 15週 16週	航海の基礎知識 航海の基礎知識 航海の基礎知識 試験の解答解説	(4) (5) (6)		。 航海で使用 船で使用す 潮汐表を係	月する書類 する長さ ⁴ もって潮汐	籍類(水路図誌 や速さの単位を 汐や海流を求め 必要性を教わる	。)が説明できる。 理解し計算できる。 oる事が出来る。
分類	コアカリ	11週 12週 13週 14週 15週 16週 キュラムの	航海の基礎知識 航海の基礎知識 航海の基礎知識 試験の解答解説 の学習内容と至	(4) (5) (6) J達目標		。 航海で使用 船で使用す 潮汐表を係	月する書類 する長さ ⁴ もって潮汐	籍類(水路図誌 や速さの単位を 汐や海流を求め 必要性を教わる	i) が説明できる。 :理解し計算できる。 oる事が出来る。 。
分類	コアカリ	11週 12週 13週 14週 15週 16週 キュラムの	航海の基礎知識 航海の基礎知識 航海の基礎知識 試験の解答解説 の学習内容と至	(4) (5) (6) J達目標		。 航海で使用 船で使用す 潮汐表を係	月する書籍 する長さ [*] をって潮 ら試験の。	籍類(水路図誌 や速さの単位を 汐や海流を求め 必要性を教わる	i) が説明できる。 :理解し計算できる。 oる事が出来る。 。
分類 評価割合	コアカリ	11週 12週 13週 14週 15週 16週 キュラムの	航海の基礎知識 航海の基礎知識 就験の解答解説 可学習内容と至	(4) (5) (6) 達目標 学習内容の到達目	西尔	。 航海で使用 朝沙表を修 船乗りから	月する書籍 する長さ [*] をって潮 ら試験の。	籍類(水路図誌や速さの単位を 汐や海流を求め 必要性を教わる 到達	が説明できる。理解し計算できる。る事が出来る。ををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををををを
モデル: 分類 評価割合 総合評価語 基礎的能	コアカリ 合 割合 7	11週 12週 13週 14週 15週 16週 キュラムの 分野	航海の基礎知識 航海の基礎知識 航海の基礎知識 試験の解答解説 の学習内容と至 学習内容	(4) (5) (6) 達目標 学習内容の到達目を 相互評価	悪悪	。 航海で使用 船で使用す 潮汐表を仮 船乗りから	月する書籍 する長さ [*] をって潮 ら試験の。	籍類(水路図誌や速さの単位を 汐や海流を求め 必要性を教わる 到達	が説明できる。理解し計算できる。る事が出来る。をレベル 授業週合計
分類 評価割 合 総合評価額	コアカリ 合 割合 7	11週 12週 13週 14週 15週 16週 キュラムの 分野	航海の基礎知識 航海の基礎知識 航海の基礎知識 試験の解答解説 ご製内容と至 学習内容と至 発表 0	(4) (5) (6) J達目標 学習内容の到達目 相互評価 0	票 態度 0	。 航海で使用 船で使用す 潮汐表を6 船乗りから ポートフ	月する書籍 する長さ [*] をって潮 ら試験の。	籍類(水路図誌 や速さの単位を 汐や海流を求め 必要性を教わる 到達 その他 30	が説明できる。理解し計算できる。る事が出来る。をレベル 授業週合計 100

鳥羽	기미끼미미							
科目基础	楚情報							
科目番号		0001			科目区分	専門 / 必		
受業形態		講義	-		単位の種別と単位			
開設学科		商船学	 :科		対象学年	1		
開設期		後期	1-1		週時間数	2		
<u>//102///3</u> 教科書/教	材	機関学		 専編(成山堂)/小型船 和(成山堂),プリン			舶職員養成協会(舵社)機関算法の
担当教員		嶋岡 尹		(III (I))(III (I))	г долгу			
到達目	· #		7 74					
1. 舶用模 2. 船舶の 3. 船舶の	機関全般の の主機関(原 の出力装置	原動機)の分	対類を理解し、その	名称や役割が説明でき 機関の特徴について訪 にび舶用機関の主な系統	朗できる。	きる。		
ルーブ!	ノック				·			
				レベルの目安	標準的な到達レ		未到達レベルの	
評価項目	1		舶用機関全般 、各機器の名 できる。	の基礎部分を理解し 称や役割が十分説明	舶用機関全般の表 、各機器の名称 る。	基礎部分を理解し や役割が説明でき		D基礎部分を理解で D名称や役割も説明
評価項目	2		解し、その機	(原動機) の分類を理 関の特徴について十 出力の計算などがで		動機)の分類を理 の特徴について説	型 船舶の主機関(/ 解できず、、そ いても説明でき	原動機)の分類を5 その機関の特徴につ きない。
評価項目:	3		、動作、およ	置の作動原理や構造 び舶用機関の主な系 分説明できる。	船舶の出力装置 、動作、および 統について説明	の作動原理や構造 舶用機関の主な系 できる。	船舶の出力装置 、動作、およて 統について説明	置の作動原理や構造 が舶用機関の主な系 月できない。
 学科の	到達目標	項目との	 関係					
教育方法								
既要	Д 	/4.4.7	一			四人の人 甘味がひ	た学羽士フ	
		・授業	************************************	とし、また、舶用機関	 月の概要を理解する 付する	るために、視聴覚教	対や実際の機器は	および模型を活用す
	め方・方法	・授業	美方法は講義を中心 要に応じて資料(E 夏レポートを課すの	とし、また、舶用機関 自作プリント等)を配 で、期限までには提出	付する。			
注意点		・ 授 る。 ・ 課 場合も	美方法は講義を中心 要に応じて資料(E 夏レポートを課すの	自作プリント等) を配	付する。			
注意点		・ 授 る。必 ・ 課 も る。	美方法は講義を中心 要に応じて資料(度 夏レボートを課すの あ	自作プリント等) を配	付する。	,、内容によってに	は、課題レポートを	
注意点		・ 授当 ・ 課場 ・ 課場 ・ まっこ。	能方法は講義を中心 要に応じて資料(E 風レポートを課すの あ	自作プリント等)を配で、期限までには提出	付する。	,、内容によってに 週ごとの到達目標	は、課題レポートを	を小テストに変える
主意点		・ 授 る。必 ・ 課 も る。	美方法は講義を中心 要に応じて資料(度 夏レボートを課すの あ	自作プリント等)を配で、期限までには提出	付する。	,、内容によってに	は、課題レポートを	を小テストに変える
注意点		・ 授当 ・ 課場 ・ 課場 ・ まっこ。	能方法は講義を中心 要に応じて資料(E 風レポートを課すの あ	自作プリント等)を配 で、期限までには提出 (11)	付する。	,、内容によってに 週ごとの到達目標	は、課題レポートを	を小テストに変える
注意点		・ 授必 ・ 湯合 ・ 湯る。 週 1週	第方法は講義を中心要に応じて資料(度) でいますのます。 授業内容 船舶の出力装置	自作プリント等)を配 で、期限までには提出 (11) (12)	付する。	ル、内容によっては 週ごとの到達目標 電気系統、動力系 圧縮比について記	は、課題レポートを	を小テストに変える
注意点		・ 授 ・ る。課 ・ 場 る。	第方法は講義を中心要に応じて資料(度) プロペラ装置(別) がある おおいま (日本) では (日本)	自作プリント等)を配 で、期限までには提出 (11) (12)	付する。	ル、内容によっては 週ごとの到達目標 電気系統、動力系 圧縮比について記 プロペラ装置の概	は、課題レポートを	を小テストに変える
主意点		・ 授必 ・ 場合。 週 1週 2週	第方法は講義を中心 要に応じて資料(E 夏レポートを課すの あ 授業内容 船舶の出力装置 船舶の出力装置	自作プリント等)を配 で、期限までには提出 (11) (12)	付する。	ル、内容によっては 週ごとの到達目標 電気系統、動力系 圧縮比について記 プロペラ装置の概	は、課題レポートを	を小テストに変える
主意点	画	・ 授 ・ る。課 ・ 場 る。	第方法は講義を中心要に応じて資料(度) プロペラ装置(別) がある おおいま は できます のまま できます かいまま できます かいまま できます かい	自作プリント等)を配 で、期限までには提出 (11) (12) 1)	付する。	ル、内容によっては 週ごとの到達目標 電気系統、動力系 圧縮比について記 プロペラ装置の概 プロペラ装置の概 プロペラ装置の複	は、課題レポートを を統を説明できる。 説明できる。 現要、作動原理が記 重転、保守、各装置	を小テストに変える
主意点	画	・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では	ま方法は講義を中心要に応じて資料(度レポートを課すの)あ 授業内容 船舶の出力装置 プロペラ装置(プロペラ装置(自作プリント等)を配 で、期限までには提出 (11) (12) 1)	付する。	週ごとの到達目標 電気系統、動力系 圧縮比について記 プロペラ装置の概 プロペラ装置の概 できる。	は、課題レポートを 続を説明できる。 説明できる。 現要、作動原理が記 で、保守、各装記 はないできる。	を小テストに変える
主意点	画	・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では	だ方法は講義を中心 要に応じて資料(度 見レポートを課すの あ 授業内容 船舶の出力装置 プロペラ装置(プロペラ装置(プロペラ装置(自作プリント等)を配 で、期限までには提出 (11) (12) 1)	付する。	週ごとの到達目標電気系統、動力系圧縮比について説プロペラ装置の概プロペラ装置のできる。プロペラ速力の言できる。	は、課題レポートを 系統を説明できる。 説明できる。 悪要、作動原理が記 転、保守、各装置 上算ができる。 「る一般的な知識	を小テストに変える 説明できる。 置の名称などが説明
主意点 受業計[画	・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では ・ では	だ方法は講義を中心 要に応じて資料(度 見レポートを課すのあ が 授業内容 船舶の出力装置 プロペラ装置(プロペラ装置(プロペラ装置(オ機(1)	自作プリント等)を配 で、期限までには提出 (11) (12) 1)	付する。	週ごとの到達目標電気系統、動力系 圧縮比について認 プロペラ装置の概 プロペラ装置のできる。 プロペラ速力の記 船舶の補機に関す	は、課題レポートを 系統を説明できる。 説明できる。 悪要、作動原理が記 転、保守、各装置 上算ができる。 「る一般的な知識	を小テストに変える 説明できる。 置の名称などが説明
主意点 受業計[画	・ では ・ では	ま方法は講義を中心要に応じて資料(度レポートを課すのある)授業内容 船舶の出力装置 別口ペラ装置(プロペラ装置(プロペラ装置(補機(1) 補機(2)	自作プリント等)を配 で、期限までには提出 (11) (12) 1)	付する。	週ごとの到達目標電気系統、動力系 圧縮比について設 プロペラ装置の調 できる。 プロペラ速力の言 船舶の補機に関す 補機の種類と各機 後期中間試験	は、課題レポートを 総統を説明できる。 初ま、作動原理が調整、保守、各装置 は関ができる。 に関すができる。 によりできる。 によりできる。 によりできる。 によりできる。 によりできる。	を小テストに変える 説明できる。 置の名称などが説明
主意点 受業計[画	・る・場る 週 1週 1週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	だ方法は講義を中心 要に応じて資料(原 更レポートを課すの あ 授業内容 船舶の出力装置 プロペラ装置(プロペラ装置(プロペラ装置(オ機(1) 補機(2) 後期中間試験	自作プリント等)を配 で、期限までには提出 (11) (12) 1)	付する。	週ごとの到達目標電気系統、動力系 圧縮比について設 プロペラ装置の調 できる。 プロペラ速力の言 船舶の補機に関す 補機の種類と各機 後期中間試験	は、課題レポートを 続続を説明できる。 説明できる。 理要、作動原理が調 を 質ができる。 「る一般的な知識 というな知識 というな知識 を はいいできる。 「る一般のな知識 を にないないできる。 「る一般のな知識	を小テストに変える 説明できる。 置の名称などが説明 できる。
主意点 受業計[画	・る・場る 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	ま方法は講義を中心 要に応じて資料(度 見レポートを課すの が 授業内容 船舶の出力装置 がプロペラ装置(プロペラ装置(プロペラ装置(補機(1) 補機(2) 後期中間試験 補機(3) 補機(4)	自作プリント等)を配 で、期限までには提出 (11) (12) 1)	付する。	週ごとの到達目標電気系統、動力系 圧縮比について記 プロペラ装置の概 プロペラ装置のできる。 プロペラ速力の言 船舶の補機に関す 補機の種類と各機 後期中間試験 試験解説および名 各種ポンプの特徴	は、課題レポートを を がを説明できる。 説要、作動原理が できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	を小テストに変える 説明できる。 置の名称などが説明 できる。
主意点 受業計[画 3rdQ	・る・場る 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 90 10週 11週	ま方法は講義を中心 要に応じて資料(度 見レポートを課すの あ 授業内容 船舶の出力装置 プロペラ装置(プロペラ装置(可しペラ装置(補機(1) 補機(2) 後期中間試験 補機(3) 補機(4) 補機(5)	自作プリント等)を配 で、期限までには提出 (11) (12) 1) 2) 3)	付する。	週ごとの到達目標電気系統、動力系 圧縮比について設プロペラ装置の概プロペラ装置のできる。 プロペラ装置のできる。 プロペラ装置の調できる。 対ロペラを関係に関する。 がは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象をは、対象を	は、課題レポートを に に に に に に に に に に に に に	を小テストに変える 説明できる。 置の名称などが説明 できる。
主意点 受業計[画	・る・場る。 週 1週 2週 3週 6週 7週 3週 10週 11週 12週 12週 12週 12週 12週 12週 12週 12週 12	ま方法は講義を中心要に応じて高り料(度) ではいる との ではいる との ではいる という ではいる という ではいる という できます できます できます できます かいます かいます かいます できます できます できます できます できます できます できます でき	自作プリント等)を配 で、期限までには提出 (11) (12) 1) 2) 3)	付する。	週ごとの到達目標電気系統、動力系 圧縮比について認 プロペラ装置の超 プロペラ装置の超 できる。 プロペラ装置の遅 できる。 プロペラ装置の遅 できる。 対しても 強期の補機に関す 補機の種類と各機 後期中間試験 試験解説および名 各種ポンプの特徴 冷凍装置の基礎失 燃料油の特性を認	は、課題レポートを 経統を説明できる。 初ま、作動原理が記 転、保守、各装置 は関できる。 一番一般的な知識 経路の特徴を説明できる。 の基礎的 なを説明できる。 のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、の	を小テストに変える 説明できる。 置の名称などが説明 できる。
主意点 受業計[画 3rdQ	・る・場る 週 1週週 2週週 3週週 3週週 3月週週 3月週週 3月週週 3月週週 3月週週 3月週	ま方法は講義を中心要に応じて高料(度) ではいますのはある。	自作プリント等)を配で、期限までには提出 (11) (12) 1) 2) 3) の特性(1) の特性(2)	付する。	週ごとの到達目標電気系統、動力系 圧縮比について認 プロペラ装置の超 プロペラ装置の返 できる。 プロペラ装置の返 できる。 別の補機に関す 補機の種類と各機 後期中間試験 試験解説および各 各種ポンプの特徴 冷凍装置の基礎気 燃料油の特性を認 潤滑油の特性を認	は、課題レポートを を統を説明できる。 のできる。 のできる。 のできる。 のできる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 の特徴を説明できる。 のは、アンプの基礎が がを説明できる。 のは、アンプの基礎が がを説明できる。 のは、アンプの基礎が がを説明できる。 のは、アンプの表できる。 のは、アンプの表では、アンプの表では、アンプの表できる。 のは、アンプの表できる。 のは、アンプの表では、アンプログの表では、アンプログの表では、アンプの表では、ア	を小テストに変える 説明できる。 置の名称などが説明 できる。
主意点 受業計[画 3rdQ	・る・場る。 週 1週週 2週週 3週 3週 3月	ま方法は講義を中心要に応じて応じて高料(目別で) を課すのはある おおいま では できますの おおいま できま できま できま できま できま できま できま できま できま でき	自作プリント等)を配で、期限までには提出 (11) (12) 1) 2) 3) の特性(1) の特性(2)	付する。	週ごとの到達目標電気系統、動力系 圧縮比について認 プロペラ装置の超 プロペラ装置の超 できる。 プロペラ装置の遅 できる。 プロペラ装置の遅 できる。 対しても 強期の補機に関す 補機の種類と各機 後期中間試験 試験解説および名 各種ポンプの特徴 冷凍装置の基礎失 燃料油の特性を認	は、課題レポートを を統を説明できる。 のできる。 のできる。 のできる。 のできる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 の特徴を説明できる。 のは、アンプの基礎が がを説明できる。 のは、アンプの基礎が がを説明できる。 のは、アンプの基礎が がを説明できる。 のは、アンプの表できる。 のは、アンプの表では、アンプの表では、アンプの表できる。 のは、アンプの表できる。 のは、アンプの表では、アンプログの表では、アンプログの表では、アンプの表では、ア	を小テストに変える 説明できる。 置の名称などが説明 できる。
主意点 受業計[画 3rdQ	・る・場る 週 1週週 3週 3週 3週 3週 3月	ま方法は講義を中心で要に応じて下で課すのが要に応じて下を課すのが要に応じて下で課すのがある。 「授業内容を開発を表しているのででである。」 「授業内容を開始的の出力装置を対象でである。」 「対しているできまでは、できまでである。」 「対しているできまでは、できまでは、できまでは、できまでは、できまでは、できまでは、できまでは、できまでは、できまでは、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが、できまが	自作プリント等)を配で、期限までには提出 (11) (12) 1) 2) 3) の特性(1) の特性(2) 学(1)	付する。	週ごとの到達目標電気系統、動力系 圧縮比について設プロペラ装置の調できる。 プロペラ装置の調できる。 プロペラ速力の言 船舶の補機に関す 補機の種類と各機後期中間試験 試験解説および各種ポンプの特徴 冷凍装置の基礎失 燃料油の特性を認 潤滑油の特性を認 力学の概要が説明	は、課題レポートを 総統を説明できる。 初ま、作動原理が調整、保守、各装置 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 の特徴を説明できる。 のは、アンプの基礎が がを説明できる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。	を小テストに変える 説明できる。 置の名称などが説明 できる。
主意点 受業計 原	到 3rdQ 4thQ	・る・場る 週 1週週 2週 3週	ま方法は講義を中心に要に応いていますの。 一般的の出力装置 一般的の出力装置 一般的の出力装置 一般的の出力装置 一分のでする表置 一分のでする表面では、 一分のでする表面では、 一分のでは、 一分のでは、 一分のでは、 一般には、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一	自作プリント等)を配で、期限までには提出 (11) (12) 1) 2) 3) の特性(1) の特性(2) 学(1)	付する。	週ごとの到達目標電気系統、動力系 圧縮比について認 プロペラ装置の超 プロペラ装置の返 できる。 プロペラ装置の返 できる。 別の補機に関す 補機の種類と各機 後期中間試験 試験解説および各 各種ポンプの特徴 冷凍装置の基礎気 燃料油の特性を認 潤滑油の特性を認	は、課題レポートを 総統を説明できる。 初ま、作動原理が調整、保守、各装置 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 の特徴を説明できる。 のは、アンプの基礎が がを説明できる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。 のは、アンプの基礎ができる。	を小テストに変える 説明できる。 置の名称などが説明 できる。
主意点 受業計画	画 3rdQ 4thQ	・る・場る 週 1週週 2週 3週	ま方法は講義を中心に要にポートを課すのが要にポートを課すのが要にポートを課すのが要素を関する。	自作プリント等)を配で、期限までには提出 (11) (12) 1) 2) 3) の特性(1) の特性(2) 学(1)	付する。	週ごとの到達目標電気系統、動力系 圧縮比について設プロペラ装置の調できる。 プロペラ装置の調できる。 プロペラ速力の言 船舶の補機に関す 補機の種類と各機後期中間試験 試験解説および各種ポンプの特徴 冷凍装置の基礎失 燃料油の特性を認 潤滑油の特性を認 力学の概要が説明	は、課題レポートを を続た説明できる。 説明できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 の特徴を説明できる。 のはいできる。 のはいできる。 のはいできる。 のはいできる。 のはいできる。 のはいできる。 のはいできる。 のはいできる。 のはいできる。	を小テストに変える 説明できる。 置の名称などが説明 できる。
主意点 受業計 に が 変 が 変 が 変 が 変 が が が が が が が が が が が	画 3rdQ 4thQ	・る・場る 週 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	ま方法は講義を中心に要にポートを課すのが要にポートを課すのが要にポートを課すのが要素を関する。	自作プリント等)を配で、期限までには提出 (11) (12) 1) 2) 3) の特性(1) の特性(2) 学(1) 学(2) 達目標	付する。	週ごとの到達目標電気系統、動力系 圧縮比について設プロペラ装置の調できる。 プロペラ装置の調できる。 プロペラ速力の言 船舶の補機に関す 補機の種類と各機後期中間試験 試験解説および各種ポンプの特徴 冷凍装置の基礎失 燃料油の特性を認 潤滑油の特性を認 力学の概要が説明	は、課題レポートを を続た説明できる。 説明できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 の特徴を説明できる。 のはいできる。 のはいできる。 のはいできる。 のはいできる。 のはいできる。 のはいできる。 のはいできる。	を小テストに変える 説明できる。 置の名称などが説明 できる。 知識を説明できる。
主意点 受業計 に が 変 が 変 が 変 が 変 が が が が が が が が が が が	画 3rdQ 4thQ	・る・場る 週 1 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週 週	ま方法は講義を中心に要にポートを課すのが要にポートを課すのが要にポートを課すのが要素を関する。	自作プリント等)を配で、期限までには提出 (11) (12) 1) 2) 3) の特性(1) の特性(2) 学(1) 学(2) 別達目標 学習内容の到達目:	付する。	週ごとの到達目標電気系統、動力系 圧縮比について設プロペラ装置の調できる。 プロペラ装置の調できる。 プロペラ装置の調整に関する。 があれていて記述のできる。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 がある。 があ	は、課題レポートを 経統を説明できる。 初できる。 初できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 のは、保守、各装置は、保守、各装置は、保守、各装置は、保守、各装置は、自動のは、自動のは、自動のは、自動のは、自動のは、自動のは、自動のは、自動の	だ小テストに変える 説明できる。 置の名称などが説明 できる。 知識を説明できる。 が明できる。
主意点 受業計で ジャン・シャン シャック できます かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう かいこう	画 3rdQ 4thQ	・る・場る 週 1週 2週 3週 4週 3週	ま方法は講義を中心に要にポートを課すの 一般を表します。 一般を表します。 一般を表します。 一般を表します。 一般を表します。 一般を表します。 一般を表します。 一般を表します。 一般を表します。 一般である。 一般である。 一般では、1) 一様では、1) 一様では、1) 一様では、1) 一様では、1) 一様では、1) 一様では、1) 一様では、1) 一様できまできます。 一様できます。 一体できまます。 一体できまます。 一体できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	自作プリント等)を配で、期限までには提出 (11) (12) 1) 2) 3) の特性(1) の特性(2) 学(1) 学(2) 達目標	付する。	週ごとの到達目標電気系統、動力系 圧縮比について設プロペラ装置の調できる。 プロペラ装置の調できる。 プロペラ速力の言 船舶の補機に関す 補機の種類と各 後期中間試験 試験解説および各 を期中間試験 試験解説および各 を期中である。 と を期中間試験 試験解説および各 を期中である。 と を期中である。 と を期中である。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	は、課題レポートを 経統を説明できる。 初できる。 初できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 のは、保守、各装置は、保守、各装置は、保守、各装置は、保守、各装置は、自動のは、自動のは、自動のは、自動のは、自動のは、自動のは、自動のは、自動の	を小テストに変える 説明できる。 置の名称などが説明 できる。 知識を説明できる。
主意点 受業計 で 対 が が が が が が が が が が が が が が が が が が	画 3rdQ 4thQ	・る・場る 週 1週 2週 3週 4週 3週 5週 8週 90 11 13 13 14 15 16 17 分野 50	ま方法は講義を中心(原見しポートを課すの) 一般的の出力装置 一分の出力装置 一分の出力装置 一分の出力装置 一分の一分の一分のでは、 一分のでは、 一分では、 一分では、 一が、 一が、 一が、 一が、 一が、 一が、 一が、 一が	自作プリント等)を配で、期限までには提出 (11) (12) 1) 2) 3) の特性(1) の特性(2) 学(1) 学(2) 関達目標 学習内容の到達目:	付する。 けすること。ただし 標 態度 10	週ごとの到達目標電気系統、動力系 圧縮比について記 プロペラ装置の運できる。 プロペラ装置の運できる。 プロペラ装置の運動の補機に関す 補機の種類と各機 後期中間試験 試験解説および特 各種ポンプの基礎外 燃料油の特性を認 別滑油の特性を認 力学の概要が説明 試験解説およびが	は、課題レポートを を	だ小テストに変える 説明できる。 置の名称などが説明 できる。 知識を説明できる。 以前のできる。
注意点授業計算	画 3rdQ 4thQ	 ・る・場る 週 1月 2月 3月 4月 5月 8月 7月 8月 10月 11月 12月 13月 14月 15月 14月 14日 14	ま方法は講義を中心に要にポートを課すのの場合にポートを課すのの場合を課すのの出力装置	自作プリント等)を配で、期限までには提出 (11) (12) 1) 2) 3) の特性(1) の特性(2) 学(1) 学(2) 達目標 学習内容の到達目 相互評価	付する。 はすること。ただし	週ごとの到達目標電気系統、動力系 圧縮比について説 プロペラ装置の運できる。 プロペラ装置の運できる。 プロペラ装面の運動の補機に関す 補機の種類と各機 接期中間試験 試験解説および各種ポンプの特性 冷凍装置の特性を認 別滑油の特性を認 力学の概要が説明 試験解説および流	は、課題レポートを に に に に に に に に に に に に に	を小テストに変える 説明できる。 置の名称などが説明 できる。 知識を説明できる。 説明できる。